

明峰中学校と小瀬高校は連携型中高一貫教育に取り組んでいます。これまでの連携活動について紹介します。

【「総合的な学習の時間 福祉教育」スポット的授業】

11月7日(木)、明峰中学校で3年生を対象に、総合的な学習の時間・スポット的授業「自己を見つめて」を実施しました。小瀬高福祉コースに在籍している小瀬高生たちが明峰中生たちに、視覚障害者体験、ベット上での介護・車いす体験、衣服の脱着介助、インスタントシニア体験、食事介助を教えました。明峰中生たちは小瀬高生の指示に従いながら真剣な態度で体験に取り組んでいました。



ベットの介護体験



インスタントシニア体験

～平塚駆恋さん(明峰中)より～

小瀬高の先輩たちが近い目線に立って教えてくれたことで、短時間にたくさんのことを学ぶことができました。肢体不自由な人に出会った時に、今回の体験を思い出し、助けていきたいと思います。

～宮崎莉々子さん(明峰中)より～

体験をする前は、ベッドケアなど上手にできるか不安でした。しかし、小瀬高の先輩たちが優しく教えてくださったお陰で上手にできるようになりました。介護が必要な方々に出会ったら積極的に声をかけていきたいと思います。

【ふれあいキャンパス】

11月22日(金)、連携型中高一貫教育生徒交流事業「ふれあいキャンパス」を小瀬高校で開催しました。明峰中と小瀬高の教員が協力して12の講座を設け、生徒たちは普段の授業とは違う雰囲気の中で一緒に楽しく学ぶことができました。小瀬高生が明峰中の生徒をサポートするなど、中高生同士と一緒に授業を受けることで、交流を深めることができました。また、新しい発見をする機会にもなり、主体的な学びとなりました。



地域巡検「わりばし体験」
(地歴公民科)より



「体内環境を調節する器官を解剖しよう」(理科)より

～吉田朱里さん(明峰中)より～

私はバレーボールの講座に参加しました。最初は少し緊張しましたが、小瀬高の先輩たちが優しく接して下さり、仲良くプレーすることができました。たくさんの人と関わり、よい経験になりました。これからもこのような機会を大切に交流していきたいです。

～大和楓果さん(小瀬高)より～

私たち3年生にとって、最後のふれあいキャンパスとなりました。進学、就職とこれからもたくさんの人たちとふれあい、関わっていきます。ふれあいキャンパスで学んだ「積極的に取り組んでいくこと」を今後の生活に生かしていきたいと考えています。